

東京外語会有志による海外支部歴訪の旅
第 17 回ヤンゴン支部訪問
～癒しと安らぎの国 ミャンマーを訪ねる～
(2017.2.6 ～ 2.11、OP 12)

< 2 >

バガン (ニャンウー) ～ 3000 の遺跡が夕日に映える ～
2月8日(水)

4時起きで早朝にホテルを出発し飛行機でバガン (ニャンウー) へ移動。バガン遺跡には最盛期には 5000 ものパゴダが作られ、今もその 3000 近くが残るそうで、空には遺跡見物の無数の気球が浮かぶ。

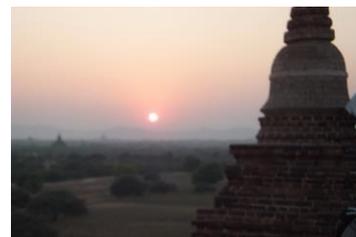
バスでニャンウー市場に向かう。まさに庶民の市場。野菜が主であるが、魚、鶏、穀物、何でもある。



ニャンウー市場



ピャタッジーパゴダ屋上で



屋上からの夕日

ポッパ山に向かう途中、棕櫚ヤシで砂糖や酒を造り売る棕櫚ヤシ工場があり、見学した。

賑やかな信仰の地ポッパ山(1518m)の中腹にそそり立つ岩峰タウン・カラッはミャンマーの土着信仰ナツ神の総本山で、頂上や斜面に神殿がいくつもある。頂上に行くには 777 段の階段を上る。我々は最初の 100 段は全員で上り、希望者だけ頂上まで行った。

午後はオールドバガンに戻り、バガン最大の寺院遺跡であるアーナンダー寺院を見学。本堂は一辺 50m 超の正方形、中には東西南北に 4 つの仏像が安置されている。

5 時過ぎ、夕日鑑賞のためピャタッジーパゴダに行く。裸足で屋上に上り落日を待つ。大勢の人。6 時 15 分ごろ、赤い火の玉と化した太陽が木々と無数のパゴダで描かれる地平線に近づく。我々一行は混雑を避けるために早々に石段を下りた。

夜は、レストラン「NANDAR」にて人形劇を鑑賞しながら夕食。

宿泊するホテル エー・ヤー・リバービュー・リゾート [AYE YAR RIVERVIEW RESORT] に到着したのは夜 9 時前。長い一日だった。

古都マンダレーへ ～ 王宮やシェナンドー寺院 ～

2月9日(木)

今日も早起きでニャンウー空港へ向かう。国内線 30 分で 8:20 に王朝最後の古都でミャンマー第二の都市マンダレーに到着。文化の中心地で日本の京都といったところか。手配のバスで、全て硬いチーク材で出来た長大なウーペン橋や織物工房を見学。ランチの後、ホテルにチェックインして2時間ほど休憩を取る。早朝出発が続いたので、体休めにホット一息。

午後は、戦後再建されたマンダレー王宮、木造の寺院として有名なシェナンドー寺院を見学のあと、トラックバスで周囲を一望できるマンダレーヒルへ。5時頃エスカレーターで頂上へ。ここも裸足での見学だ。頂上からは周囲のパゴダのほか何と刑務所も見える。ここからの夕日もまた抜群！ 帰りに1人行方不明になるも、帰路の途中で発見！無事、ホテルに全員帰還。夕食はミャンマー料理に「おかゆ」がついた。



織物工房



マンダレーヒルへのトラックバス



ヒル頂上からの夕日